

要旨把握

- (1) 筆者の主張を探す。
- (2) 最初と最後に気をつける。そこに、筆者の『考え・意見・疑問』がある可能性大。
- (3) 『つまり、したがって、要するに、結局』はまとめる(要旨を主張する)ための言葉。
- (4) 誤った選択肢の作り方を覚える。

要旨：試験は、合格しなければ、意味がない。

余計なものを付け足す。大事なものを省く。

試験は、1回の受験で合格しなければ意味がない。

試験は、意味がない。

行間を読まない。

試験は、合格しなければ、意味がない。だから落ちてはいけない。

抽象的な文章には具体的な答えを作り、具体的な文章には抽象的な答えを作り間違いとする。

あなたは、合格しなければ意味がない。

人生は、勝たなければ意味がない。

出題傾向

	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	合計
要旨把握			1	2	3	1	1	1	2	1	1		13
下線部説明	1	1			1	1			1	1		1	6
空欄補充	1	3	2	2		1	2	1		1	1	2	14
並び替え	1				1	1		1			1		5
敬語			1										1
段落わけ	1												1
合計	4	4	4	4	5	4	3	3	3	3	3		40

下線部説明

例題 3 (H11-8)

次の文章の下線部分の意味として、最も適当なものはどれか。

(出典 加藤秀俊著「象徴の世界」)

- 1 その程度の音なら、聞こえても聞こえなくても、同じことだと考えていること。
- 2 音が聞こえるかどうかではなく、聞こえないはずだと信じ込んでいること。
- 3 実際には音が聞こえないこともないが、多少聞こえても平気であること。
- 4 実際には音が聞こえないこともないが、聞こえないはずだと信じ込んでいること。
- 5 実際には音が聞こえていても、気持ちの上で聞こえないことにしていること。

正解 5

例題 4 (H10-8)

次の文章の下線部分の意味として、最も適当なものはどれか。

(出典 森本哲郎著「すばらしき旅」)

- 1 自分の属する文明社会の文化を否定するという気持ちの迷いを断ち切るために行く。
- 2 文明社会に生きる自分自身を砂漠の前にさらけ出し、自らを省みるために行く。
- 3 自分にとっては、文明社会で生きていくことと、砂漠で生きていくことのどちらが合っているのか確認しに行く。
- 4 何も無い砂漠で生活することができるかどうかの答えを探しに行く。
- 5 空と砂とが溶け合った砂漠での自分自身の姿を思い浮かべると、居ても立っても居られなくなって行く。

正解 2